

栃木県庁  
監督：阿久津定之

1. 大会概要
- ・日程 平成23年7月16日(土)～17日(日)
  - ・会場 東京都世田谷区立総合運動場テニスコート
  - ・主催 関東テニス協会
  - ・主管 東京都テニス協会
  - ・後援 東京都教育委員会・世田谷区教育委員会
  - ・協賛 ブリジストンスポーツ株式会社
  - ・協力 世田谷区テニス協会
2. 試合方法
- ・男子16チームによるトーナメントにより順位を決定する。
  - ・コンソレーションにより順位を決定する。
  - ・複2試合及び単1試合による対抗戦。ただし、重複出場は出来ない。
  - ・試合順序はD2 D1 Sの順番。
  - ・8ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式。
3. 出場選手
1. 阿久津定之
  2. 鈴木秀男
  3. 法師人行雄
  4. 大貫大輔
  5. 小林裕幸
  6. 若林克弥
4. 試合結果
- 1回戦 対 リコー厚木(神奈川1位)：7月16日(土)
- |    |               |       |               |
|----|---------------|-------|---------------|
|    | 栃木県庁          | - 0   | リコー厚木         |
| D2 | 阿久津定之<br>鈴木秀男 | 8 - 6 | 岡本洋一<br>江崎直幸  |
| D1 | 大貫大輔<br>小林裕幸  | 8 - 4 | 種子田裕介<br>荒井 仁 |
| S  | 若林克弥          | 8 - 1 | 岡本拓也          |
- 2回戦 対 群馬県教育委員会(群馬1位)：7月16日(土)
- |    |               |              |              |
|----|---------------|--------------|--------------|
|    | 栃木県庁          | - 1          | 群馬県教育委員会     |
| D2 | 阿久津定之<br>鈴木秀男 | 3 - 8        | 矢澤康弘<br>金井孝太 |
| D1 | 大貫大輔<br>小林裕幸  | 8 - 3        | 吉沢 勉<br>井田 敦 |
| S  | 若林克弥          | 9 - 8<br>(5) | 木村 将秀        |

準決勝 対 新日本建設（千葉県1位）：7月17日（日）

	栃木県庁	0 -	新日本建設
D 2	阿久津定之 法師人行雄	2 - 8	木津 進 長野重雄
D 1	大貫大輔 小林裕幸	5 - 8	広田定貢 野畑祐一
S	若林克弥	打切り	安部将大

3位決定戦 対 川口市役所（埼玉1位）：7月17日（日）

	栃木県庁	0 -	川口市役所
D 2	小林裕幸 若林克弥	3 - 8	浅井正之 春原健一
D 1	阿久津定之 鈴木秀男	3 - 8	輿石龍児 高頭飛羽我
S	法師人行雄	1 - 1 打切り	鈴木琢也

## 5. 所感

今年の関東ビジネスパル・テニストーナメントは、初めて、東京都で開催されました。これまでは、日本リーグ開催の運営があるため、東京都では実施されていませんでしたが、2013年に東京国体が開催されるにあたり、そのリハーサル大会として実施され、ソロチェアアンパイヤ方式（SCU方式）で行われました。また、今年は、例年より梅雨明けが早く、連日35度を超える猛暑が続きました。その厳しい天候の中、第50回の記念すべき大会が開催されました。

初戦の対戦相手は、神奈川県代表のリコー厚木（第4シード）との対戦でした。ダブルス2の阿久津・鈴木組は、接戦の末、8 - 6で勝ち、ダブルス1の大貫・小林組も8 - 4で危なげなく勝ち、2 - 0と勝敗を決めました。初戦の対戦であったためシングルスも行い、今年、入庁した若林選手がデビュー戦を8 - 1で勝利し、チームとしても3 - 0と好スタートを切ることが出来ました。

続く2回戦の相手は、群馬県代表の群馬県教育委員会で初めての対戦でした。ダブルス2の阿久津・鈴木組は最後までリズムに乗れず、相手のペースで終始進み3 - 8落とし、後がなくなりましたが、大貫・小林組が逆に8 - 3で勝利し、シングルス勝負となりました。シングルの若林選手は相手のフォアハンドに苦しみ、2 - 6とリードされましたが、最後まで諦めずにボールを拾い、相手も暑さで体力を消耗し足の動きが鈍くなり、ミスが目立ちはじめ、7 - 7まで追いつきました。再び7 - 8でリードされましたが、8 - 8と追いつきタイブレーク勝負となりました。タイブレークに入ると先にリードを広げると、相手も踏ん張り6 - 5で追いつかれそうになりましたが、最後は若林選手がフォアハンドを決め2 - 1で勝利しベスト4に入り、初日で全国大会出場を決めました。

大会2日目、準決勝の相手は千葉県代表の新日本建設で、今大会の第1シードで2連覇している強豪のチームでした。ダブルス2の阿久津・法師人組はノーアドの1本がとれず、

後半は相手のペースで試合が進み 2 - 8 と負け、ダブルス 1 の大貫・小林組は後半追いつきかけましたが、前半リードされたのがひびき、5 - 8 と敗れ、初の決勝進出にはなりませんでした。

3 位決定戦の相手は、埼玉県代表の川口市役所。元日本リーグで戦った選手がいる強豪のチームで一度対戦したかった相手でした。結果は、ダブルス 2 の小林・若林組は 3 - 8 で負け、続くダブルス 1 の阿久津・鈴木組も 3 - 8 で負けてしまいました。やはり、実力の差を感じさせられましたが、良い経験となりました。

今回の大会は、4 位に入賞することが出来ました。栃木の代表として昨年の本田に続き今年も全国出場を決め、また、来年のシード権も確保できたのも、実業団委員会を初め、栃木県テニス協会の方々のお陰だと心から感謝しております。

全国大会に出場しても栃木の代表として、また、関東の代表として最後まで頑張ってくださいるので、今後ご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

以上

